

JASO発 暮らしつづける街へ (Part 2) <第6回>

2021年 JASO マンション耐震セミナー開催報告

オンライン (Zoom) 開催 2021年11月20日

耐震総合安全機構 教育・研修委員会委員
河井 修



JASO (耐震総合安全機構) では毎年マンション耐震セミナーを開催している。

その目的は、必ず到来する大地震に対し「倒れない」マンションを目指し、一層のマンション耐震化を推進するために、耐震アドバイザーから耐震化事例や経験談を発表し、他の管理組合や建築士などの専門家を啓発する事である。

セミナー開催の周知は、当該セミナー開催案内のチラシ 8,000 枚を作成し、協力団体窓口でのチラシ置き、並びに公益財団法人マンション管理センターには、東京

都下・神奈川県・千葉県・埼玉県を中心に約 6,000 枚のチラシのダイレクトメール発送を依頼 (有料) した。

一方、過去 6 回の JASO マンション耐震セミナー参加者からの、セミナー案内送付希望者 76 名の方には、JASO から開催案内を郵送した。また、耐震化の取組みを進めているマンション管理組合には、JASO 耐震アドバイザーが戸別配布を行った。

セミナー開催に当たって、東京都を始め日頃から JASO と協力関係にある 18 団体から後援その他の協力を得た。

オンラインセミナープログラム

13:20 [開会]

13:30 [開会]

開会挨拶 安達 和男 氏
AAA AbetaHiroko / JASO 理事長

I. 講演① あなたのマンションが被災したらどうやって復旧しますか?
— 非構造壁の被害と復旧事例 — 今井 達雄 氏
H&S 建築設計 / JASO 理事

II. 講演② 耐震改修事例報告 1 (T 型地) 野田 昭弘 氏
野田建設社 / JASO

III. 講演③ 耐震改修事例報告 2 (H プラザ) 江守 美夫 氏
H&S 建築設計 / JASO 理事

IV. マンション共用部分リフォーム融資等ご案内 志村 聖子 氏
住友不動産信託

15:30 [閉会]

※閉会后、アンケート画面が表示されますのでアンケートへのご協力をお願いします

先着順受付 (定員150名)

お申込時にご記入いただいた個人情報は、このセミナーの開催目的の範囲内においてのみ使用し、JASO 情報管理規定及び (株) 住宅金融支援機構個人情報保護方針により適正に管理します。

JASO (Japan Aseismic Safety Organization) について

私ども JASO (耐震総合安全機構) は、「地震に対して安全な住環境の提供」を目的とし、2004年に設立されたNPO法人 (特定非営利活動法人) です。地震被害の軽減から、地震に対する安全な住環境の提供、1人のための耐震化セミナーに様々な課題に取り組んでいます。特に、分棟マンションの耐震化に積極的に取り組んでいます。管理組合への食料形融資などを行っています。

(主な活動内容)

- 耐震化の促進に向けた調査研究
- 自治体との連携協力によるアドバイザー派遣や耐震診断
- 建物所有者からの依頼による耐震診断実施
- 耐震化促進のためのセミナーや講習会の開催

オンラインセミナーのお申込、詳細は下記ウェブサイトへ
<https://www.jaso.jp/>

特定非営利活動法人 耐震総合安全機構 (JASO)

お問合せ先 (JASO 事務局)
東京都文京区春日1-20-16 PAL 春日ビル7階 / 電話 03-6912-0772 / ファクス 03-6912-0773

お申込締切 11月10日 (水)

セミナー申込チラシ (表)

耐震

オンライン (Zoom) で開催決定!

あなたのマンションが被災したらどうやって復旧しますか?
— 非構造壁の被害と復旧事例 —

地震でマンションが倒壊しないためには、建物が地震に耐える力を持っていることが必要ですが、例え倒壊を免れても、壁が割れたり、玄関ドアがひしゃげたり建物が壊れる事もあります。地震発生後もマンションに住民が居るためには、被災したマンションが修復できるが前提、速やかに復旧工事を行うことが求められます。

セミナーでは、地震でマンションが被災した場合、管理組合が復旧に向けてどうすれば被害軽減を円滑に進められるか紹介すると共に、様々なハードルを乗り越えて耐震改修を実施した事例を紹介いたします。

日時: 2021年11月20日 (土) 13:30-15:30

※開催はZoomによるオンラインのみでセミナーとなります
※開催費はご自身でご準備ください

主催: 耐震総合安全機構 (JASO)

共催: 住宅金融支援機構

後援: 東京都、千代田区、港区、新宿区、台東区、品川区、大田区、世田谷区、杉木区、北区
武蔵野市、練馬市
公益財団法人マンション管理センター、公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター
一般財団法人日本建築学会、公益財団法人建築教育振興財団、公益財団法人日本建築学会、公益財団法人日本建築学会、公益財団法人日本建築学会

先着順受付 定員150名

セミナープログラム

共催団体

独立行政法人住宅金融支援機構には、セミナーを共催して頂き、ご協力を頂いた。

後援団体

以下の団体には、セミナーの後援を頂くとともに、各窓口にセミナーチラシを置くなど、セミナー開催のPRに協力して頂いた。

○地方公共団体

東京都、千代田区、港区、新宿区、台東区、品川区、大田区、世田谷区、杉並区、北区、武蔵野市、調布市

○公益財団法人 マンション管理センター

○公益財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター

○一般社団法人 東京建築士会

○マンション改修等に取り組む団体

公益法人 JIAメンテナンス部会

一般社団法人 マンションリフォーム技術協会

一般社団法人 東京都マンション管理士会

その他の協力

東京都都市整備局市街地建築部耐震化推進担当課には、セミナーの開催主旨に賛同を頂くとともに、チラシを窓口に置くなどセミナー開催のPRに協力して頂いた。

過去6回のセミナーの開催は、各マンションの新規組合理事就任時期を想定し7月、8月、9月をめどに共催頂いている住宅金融支援機構の水道橋駅近くの会場で

行っていたが、一昨年度は東京オリンピックの開催予定時期と重なり、又新型コロナ感染拡大の懸念の為中止となった。

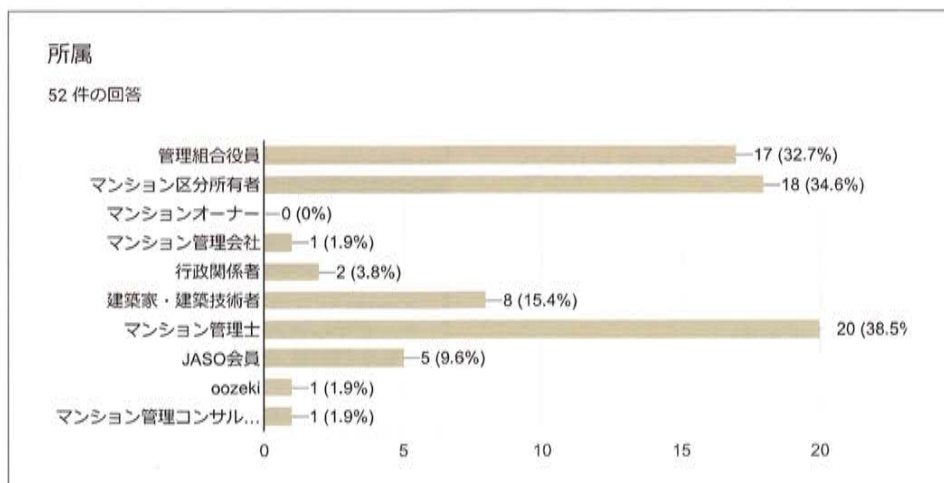
昨年は未だに衰えぬコロナ禍の中オンライン (Zoom) 開催を試みた。セミナーの企画立案、準備については、JASO教育・研修委員長以下、委員12名が7月以降頻りに打合せを行うとともに、各団体へのセミナー協力依頼等では、JASO会員7名の支援を得て行った。

セミナーへの参加申し込みは、2021年11月10日締め切りをめどに、ホームページに掲載受付を開始し、セミナー前日までの申込み者は128名であったが、実際のオンラインセミナー参加者は、90名であった。

セミナーの参加者の属性は図1のとおりとなった。

セミナープログラムと内容は以下に示す。

- 1) あなたのマンションが被災したらどうやって復しますか非構造壁の被害と復旧事例
 - ①マンションの地震被害と復旧事例
 - ・熊本地震の例を参考に紹介
 - ②マンション地震災害復旧タイムライン
 - ・地震災害直後から数か月までの災害復旧過程を説明。
 - ③生活再建に向けた手続き 各種調査・判定
 - ④被災度区分判定とマンション非構造壁復旧フローチャート
 - ⑤マンション非構造壁復旧事例と考え方。
 - ・東日本大震災での災害復旧事例などを例にとり上げ詳細に説明。



注：アンケートフォームは複数回答出来るので回答者人数と異なる。

図1

JASOマンション耐震セミナー2021

JASO

— 非構造壁の被害と復旧事例 —

あなたのマンションが被災したらどうやって復旧しますか？



開催日：2021年11月20日(土)

主催：NPO法人 耐震総合安全機構(JASO)

共催：住宅金融支援機構

講師：耐震総合安全機構 副理事長 今井章晴

パワーポイント表紙

- ・被災後の困窮した住民が行う(被災度区分判定)に支援制度を。

2) 耐震改修事例報告1 (T団地他)

①旧耐震の第1期と第2期の構造的違い

②ケース1

塗り壁補強・スリット補強

③ケース2

袖壁増し打ち補強

④ケース3

RCフレーム補強・柱巻補強

⑤ケース4

RCフレーム補強

⑥耐震補強工事費比較表

建築年代や規模、建物形状により金額は変動する。

⑦その他の補強方法紹介

スリット工法・PCフレーム補強・

SRCフレーム補強・柱巻補強

枠付きブレース補強

- ・年代別・規模別の耐震補強工事の比較表などが分かり易い

- ・補強工事事例が多く様々な補強方法が有ることは、管理組合の合意形成時に役に立つのではないか。

3) 耐震改修事例報告2 (Hプラザ)

①設計の特徴

- ・構造スリット新設
- ・袖壁増し打ち補強
- ・柱増し打ち補強
- ・鉄骨階段の振れ止め

②付帯工事(耐震改修の為に必要な工事)

③法不適合な部分の是正

- ・耐震補強工事の特徴と工事中の写真が多く説明されていて理解しやすい。
- ・耐震化に向けた時系列に各行政の助成申請が加わると、長いサイクルとなることが理解できる資料となっている。

4) マンション共用部リフォーム融資等の案内

- ・住宅金融支援機構

セミナー全体の理解度・評価では、大変参考になった・概ね参考になった、合わせて(86%)から高い評価を得た。

今回セミナーでは初めてのZoomオンラインセミナーを開催したが、物理的な問題(音声等)については反省点が残った。しかしオンラインならではの気軽に参加できる事や、セミナー会場までくることの時間的制約が無く多くの方々が参加された。次回のZoom開催を望む声も多く、概ね内容は好評であった。又今後のセミナーに関する要望を要約すると以下となる。

- ・耐震化へ進める合意形成の方法。(これは前回のセミナーでも如何にして管理組合の合意が形成されたかを、改修事例を通した報告が聞きたいという事であろう。)
- ・耐震化と大規模修繕。(今回の事例ではなかったが、次回セミナーに向けて事例報告が有れば取り上げてみたい。)
- ・耐震化の費用
- ・耐震精密診断について

JASOマンション耐震セミナー 2021 (オンライン開催)

この度は「JASOマンション耐震セミナー2021」オンラインセミナーに申し込み頂き、まことにありがとうございます。まもなく開演しますので、しばらくお待ちください。

円滑な運営のためご協力をお願い。
音声はミュートに、カメラはオフにして下さい。



耐震セミナー Zoom 待ち受け画面



Zoom セミナー 撮影スタジオ 全景



開会挨拶：安達和男 (JASO 理事長)

今回の「マンション耐震セミナー」開催は、新型コロナ禍の影響により Zoom オンラインセミナーに切り替え、7月頃から JASO 教育研修委員会メンバーと事務局で新たなセミナーの開催の仕方を模索してきた。

案内チラシの配布を行ない、申込フォーム作りから、アンケートフォーム作りまで、試行錯誤であった。セミナー参加者のインターネット環境及びオンラインセミ

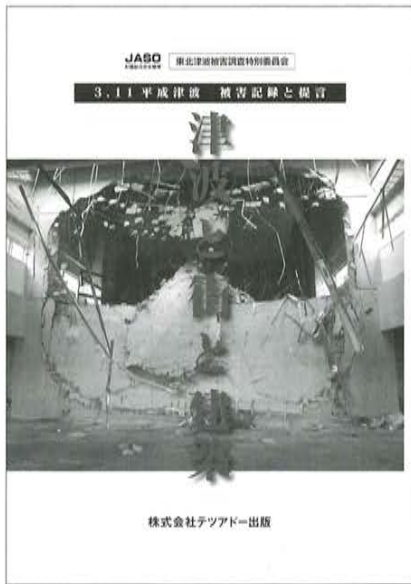
ナーの参加初心者がいることを想定し、1週間前にはオンライン参加トライアルも試みた。

委員会のメンバーも多忙の中、様々な意見を交わしながら実施した今回のセミナーであったが、これからの世相を考えて見ても継続的にオンラインシステムは欠かせないであろう。今回の経験を次回開催に生かせるよう努力していきたい。

3.11 平成津波 被害記録と提言

津波と街と建築

NPO 法人耐震総合安全機構 (JASO) 東北津波被害調査特別委員会



本体価格 3,700 円 (+税) 送料別途

A4 判 オールカラー / 196 頁

お求めは (株)テツアドー出版

〒165-0026 東京都中野区新井 1-34-14 Tel 03-3228-3401

目次

- まえがき NPO 法人耐震総合安全機構 (JASO) 安達 和男
東北津波被害調査特別委員会 委員長
- 東日本大震災基礎データ
調査概要
- 事例報告 地区統括/事例
- 考察
津波の種類と特性 江守 美実
津波の強さ 津波強度と調査結果 近藤 一郎
構造技術者が見た建物の被害 (第一次調査において) 増田 信彦
- 提言
耐津波建築設計・診断基準の提案 三木 哲
避難についての提言 岸崎 孝弘
津波に強い構造 大岡 彰
津波に強い設備 柳下 雅孝
リアス式海岸地域への提言 河野 進
平野部地域への提言 今井 章晴
- まとめ 三木 哲